

発注企業動向調査結果

-2015.7-

■調査時点 平成27年6月調査(平成27年6月末時点)

■対象企業 150社

■調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

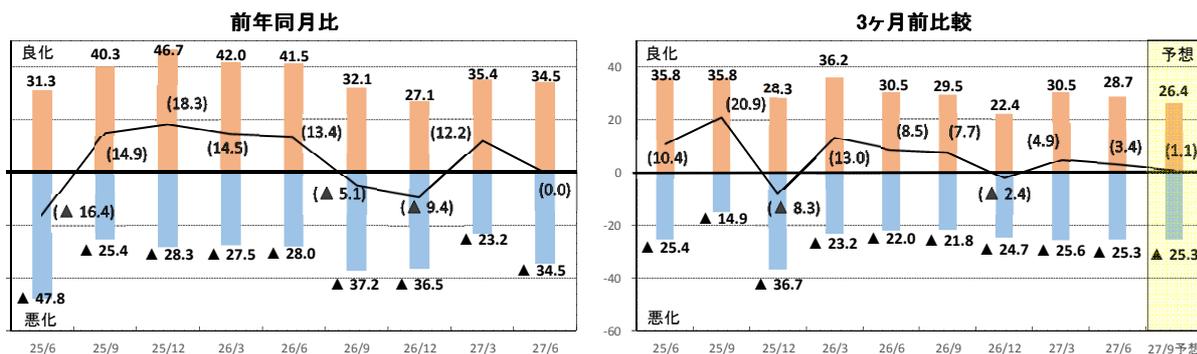
■回答企業 87社(回答率:58.00%)

<業種内訳>

プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	6社
一般機械器具	17社
電気機器	21社
輸送用機器	15社
精密機器	4社
縫製	6社
計	87社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9	26/12	27/3	27/6	27/9予想
前年同月比	▲16.4	14.9	18.3	14.5	13.4	▲5.1	▲9.4	12.2	0.0	
3ヶ月前比較	10.4	20.9	▲8.3	13.0	8.5	7.7	▲2.4	4.9	3.4	1.1

■悪化 回答率
■良化 回答率
— DI値

●外注状況



	25/6	25/9	25/12	26/3	26/6	26/9	26/12	27/3	27/6	27/9予想
外注状況	▲1.7	▲6.0	▲17.9	▲1.7	▲3.7	▲9.0	▲9.4	▲2.4	▲4.6	▲1.1

■悪化 回答率
■良化 回答率
— DI値

●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは(0.0)で前回の(12.2)から12.2ポイント減の大幅悪化となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは(3.4)で前回の(4.9)から1.5ポイント減でほぼ横ばいとなった。

・外注状況は(▲4.6)で前回の(▲2.4)から2.2ポイント減の悪化となった。

・3ヶ月後の予想DIは生産高が(1.1)で2.3ポイント減で悪化、外注状況が(▲1.1)で3.5ポイント増の良化となった。

・円安の影響により新規案件の話や取引先開拓の動きはあるものの、単価や原材料費、諸経費等の問題で生産高は伸びていない状況である。今後も同様の傾向が続くと思われる。
外注状況は今後、良化していく傾向にはあるが、大きな改善は見られない。